

施策マネジメントシート

基本施策名	08 スポーツの振興	施策統括課	生涯学習課	氏名	雨宮和人
政策名	3 文化・生涯学習・スポーツ	主な関係課	環境政策課・健康づくり推進担当		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民

施策の目的 市民一人ひとりがスポーツ・レクリエーションを楽しめるまちを目指す。
--

対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

成果指標 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称 (展開方向ごとに記載)	単位
1 ア 日常的にスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%
イ 市及びくにたち文化・スポーツ振興財団が実施するスポーツ・レクリエーション事業の参加者数	人
2 ア 市民総合体育館の利用者数	人
イ 公園スポーツ施設の利用数	1面 1時間
ウ 学校開放施設の利用者数	人
3 ア	
イ	
4 ア	
イ	

2 第1次基本計画期間(平成28～令和5年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 多様なスポーツ機会の提供	しょうがい・体力の有無や年齢にかかわらず、スポーツ・レクリエーションを楽しむ市民を増やし、健康増進や市民交流・コミュニティの形成等に結びつける。	地域におけるスポーツ機会の提供において中心的な役割を果たしているくにたち文化・スポーツ振興財団や体育協会の活動を支援します。 関係各課やくにたち文化・スポーツ振興財団、体育協会、市内の大学等と協力しながら、年齢・体力に応じたスポーツ・レクリエーションの機会を提供します。
2 スポーツ環境の充実	市民が利用しやすいスポーツ環境づくりを推進し、より市民がスポーツに親しむための機会を提供する。	市民総合体育館や公園スポーツ施設等の利便性を向上させます。 学校開放施設の設備・備品等の整備を行います。 スポーツ団体の紹介等を行うことで、市民が新しくスポーツを始めやすい環境を整えます。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

		単位	数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	目標達成度		
対象指標	ア		見込み値 実績値	74,546	75,384	75,466	75,932							達成・ 未達成	前年度 比較
	イ		見込み値 実績値												
	ウ		見込み値 実績値												
	エ		見込み値 実績値												
成果指標	展開方向1	%	成り行き値											未達成	低下
			目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0				
	実績値	53.8	52.6	50.1	53.5	52.7									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査									
	イ	人	成り行き値											達成	維持
			目標値	24,250	24,500	24,750	25,000	25,250	25,500	25,750	26,000				
	実績値	26,024	27,686	29,330	27,742	27,851									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書より									
	ア	人	成り行き値											未達成	低下
			目標値	203,750	207,500	211,250	215,000	218,750	222,500	226,250	230,000				
	実績値	186,592	197,684	198,018	206,067	189,215									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書より									
	展開方向2	1面 1時間	成り行き値											未達成	低下
			目標値	39,575	40,050	40,525	41,000	41,475	41,950	42,425	42,900				
	実績値	38,194	37,040	36,056	35,936	33,135									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		テニスコート・野球場・サッカー場の利用数の合計(くにたち文化スポーツ振興財団事業報告書より)									
ウ	人	成り行き値											未達成	低下	
		目標値	96,500	97,000	97,500	98,000	98,000	98,000	98,000	98,000					
実績値	87,756	93,066	96,162	96,740	94,058										
			基本計画における 指標の説明又は出典元		くにたち文化・スポーツ振興財団事業報告書より										
展開方向3	イ	成り行き値													
		目標値													
実績値															
			基本計画における 指標の説明又は出典元												
展開方向4	イ	成り行き値													
		目標値													
実績値															
			基本計画における 指標の説明又は出典元												
事務事業数				本数	4	5	5	4							
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円											
			都道府県支出金	千円		16,160	29,400	48,000	21,105						
			地方債	千円											
			その他	千円		171	307								
	一般財源	千円		166,922	207,961	346,726	171,589								
	事業費計 (A)	千円	0	183,253	237,668	346,726	192,694	0	0	0	0				
	人件費	延べ業務時間	時間		3,610	4,260	4,260	5,440							
人件費計 (B)	千円		12,800	13,425	13,425	22,532									
トータルコスト(A)+(B)				千円	0	196,053	251,093	360,151	215,226	0	0	0			

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)

D:成果がどちらかと言えば低下した

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い)

C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)

・コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止・施設の休館の影響が大きいと考える。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・人生100年時代において、超高齢社会が進行し、健康寿命の延伸が命題となっている。また、本年は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が1年先送りされた。・スポーツ・レクリエーションは、生きがいづくりや健康づくりに大切であるばかりでなく、地域間交流や世代間交流の推進、地域コミュニティの活性化、地域イメージの向上などの面からも大きな役割が期待されている。

・市では、子どもの体力の向上、成人・高齢者の健康の保持及び精神的ストレスの解消のため社会体育事業として、くにたち文化・スポーツ振興財団と連携しながらスポーツ・レクリエーションの振興に努めている。しかしながら、利用可能施設に比して、利用者が飽和状態であるのが現状である。

・75歳以上の高齢者に対する保健事業を介護保険の地域支援事業等と一体的に実施することや、各高齢者の医療・健診・介護情報等を一括して把握できるようになる改正健康保険法案が令和元年5月15日に可決し、令和2年度から施行されている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・スポーツ施設を利用したいが埋まっているため利用できないとの苦情がある。

・スポーツ施設を夜間遅くまで利用したいとの要望がある。

・施設予約システムの利用者登録手続きを軽減できないのかと要望がある。

・公園への健康器具の設置など、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを推進してほしいとの要望がある。

・スポーツ及び健康づくりのための運動を行う場所が不足しているとの声がある。

(3) 施策の取組状況

元年度の取組状況	2年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ・レクリエーション事業を実施 東京2020大会に向けて、各競技体験事業を実施、高齢者の健康増進事業などの事業を拡充 オリンピック・パラリンピック機運醸成事業及び聖火リレーに関して詳細事項が決定、関連団体等への連絡調整など対応 しょうがいしゃスポーツの普及及び促進 地域スポーツクラブ設立に向けた準備会を組織し検討 東京女子体育大学とスポーツこどもの日などの連携事業を実施 スポーツ施設を含む公園施設の長寿命化計画(案)の策定に向けた取り組みを進めた(市民アンケート等)。 令和2年度に向け、市内公園内に健康器具の設置に当たり、市民説明会を実施した。 市内公園には、コミュニティサイクル「のりすけ」のポートとして6公園で合計32台分を軽微な運動として資することから、利便性の向上の観点をあわせ整備した。 台風19号で被災した河川敷公園を年度内に災害復旧工事を行った。 健康ウォーキングマップによるウォーキングイベントの実施 誰でも参加可能の「くにたちオリジナル体操のついで」を毎週1回公園にて実施 「いきいき百歳体操」(筋トレ)について市民による地域展開を支援 特定保健指導を財団委託で運動プログラム実施 「GO!5!健康大作戦」での東京女子体育大学との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 各種スポーツ・レクリエーション事業を実施 東京2020大会に向けて、各競技体験事業を実施、高齢者の健康増進事業などの事業を拡充 開催延期となったオリンピック・パラリンピック機運醸成事業及び聖火リレーに関して改めて詳細事項が決定、関連団体等への連絡調整など対応 しょうがいしゃスポーツの普及及び促進 地域スポーツクラブ設立に向けた準備会を組織し検討 東京女子体育大学とスポーツこどもの日などの連携事業を実施 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、公園の利用の自粛要請及び屋外スポーツ施設を一定期間(4/8～5/31)閉鎖した。 スポーツ施設を含む公園施設の長寿命化計画(案)の策定に向けて健全度調査を実施(予定)。 市内3公園で11基の健康器具を設置(予定)。 市内公園には、コミュニティサイクル「のりすけ」のポートを4公園16台分を軽微な運動として資することから、利便性の向上の観点をあわせ整備した 運動施設を有する都市公園(谷保第三公園、矢川上公園)に防災機能の向上及び熱中症の予防の観点から自動販売機を整備(予定)。 健康ウォーキングマップによるウォーキングイベントの実施 誰でも参加可能の「くにたちオリジナル体操のついで」を毎週1回公園にて実施 「いきいき百歳体操」(筋トレ)について市民による地域展開を支援 特定保健指導を財団委託で運動プログラム実施 「GO!5!健康大作戦」での東京女子体育大学との連携

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

○成果実績

○多様なスポーツ機会の提供

・くにたち文化・スポーツ振興財団、体育協会への補助、東京女子体育大学との連携によるスポーツこどもの日の実施、秋の市民祭りにおけるオリンピック・パラリンピック競技の体験会の実施、地域スポーツクラブ設立に向けた会議の開催支援。

○スポーツ環境の充実

・台風19号で被災した河川敷公園を速やかに復旧させた。

・令和2年4月1日から有料公園施設の使用料を改定し、受益者負担を適正化した。

○改善余地のある事項・課題等

社会体育事業については、市主催(スポーツ推進委員による)もの、くにたち文化・スポーツ振興財団主催によるものがあり、整理をしてきたところである。今後、総合型地域スポーツクラブが設立される予定であり、事業内容が重複しないような調整が必要になってくると考える。

(2) 施策の元年度における総合評価

C	<p>成果実績数値の評価(A～E)に、定性的要素を加味した評価</p> <p>A: 目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。</p> <p>B: 一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。</p> <p>C: 成果向上のため、一層の努力が求められる。</p> <p>D: 成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。</p> <p>E: 現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。</p>
---	--

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 3年度取組方針

・くにたち文化・スポーツ振興財団や体育協会、東京女子体育大学との連携は引き続き連携しながらスポーツの振興に努める。特に、令和3(2021)年は、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年となるため、聖火リレー等の機運助成事業に努める。

・公園施設等の長寿命化計画(案)策定する。

・健康器具(2か年目)を設置(3公園11基(予定))する

・健康増進計画に基づき各種事業を推進する。

(2) 中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

・地域スポーツクラブ、くにたち文化・スポーツ振興財団や体育協会等の各種団体との連携も図りながら、スポーツ・レクリエーションの推進を図る。

・施設の老朽化が進むなか公園施設の長寿命化計画を2020年度までに策定し、施設の適切な維持管理に努めていく。

・高齢者の健康寿命延伸につながるよう、公園への健康器具の設置等、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりを公園施設の更新計画と合わせて検討していく。

・健康増進計画に基づき各種事業を推進する。